

## 森の子コレンジャー1月の活動『野生動物が暮らせる環境（ビオトープ）作り』



荒れてしまった谷津田が・・・



姿をあらわしました！

昔、山間地域の多くは山の谷に集まる“水”を利用して作られた谷津田と呼ばれる田んぼが人々の生活を支えていました。現在のあきる野では、人に管理されぬまま荒れ放題となってしまった谷津田ばかり・・・

当然と言えば当然かもしれません。山の中に道具を担いで行って、手作業で狭い田んぼにお米を育てることは、現代の私たちには想像もつかない苦勞ですよね。しかも谷津田周辺の森も人に利用されない為に木は生長し続け日陰を作っていることで、米の生育に重要な太陽の光も入らず昔の谷津田とはまったく違う環境が作られています。

コレンジャーと整備する谷津田の現状は、長年にわたる雨の影響でしょうか、泥が堆積しイノシシのヌタ場となっています。ヌタ場はイノシシにとって転げ回って体に着いた寄生虫を取り除くので重要ですが、今回はヌタ場をたくさんの水生生物が暮らせる深さのある池に変え、水路を作り、周りの森はシノダケやアオキの一部を伐採する整備を行いました。その結果の一つとして、人間の畑に悪さをするイノ

シシにはヌタ場をより奥山へ移動してもらえばいいな、と考えました。

事前にパibroから、水場から生まれる命が他の野生生物の命を支え、多様な自然を作っている。だから水場と水生生物はとっても重要だというレクチャーがありました。子ども達にも「森に暮らす生物と人の生活を守るため」という気持ちが生まれたようです。泥だらけになるのもお構いなし！大人も子どももみんなで力を合わせました。そんな森には“自然が好きだから”というみんなの想いがほんわかと漂っていたと思います。

人が管理していた水場が減ったことで、その環境を利用していた生物が減り、その生物をエサとしている野生生物へも影響が出ること、そして人の生活にも影響が出ること・・・こうしたつながりを今回の活動を通して体験から学んだのではないのでしょうか。

コレンジャーの活動のために、快く谷津田と周辺の森を貸して頂いた沖倉さんありがとうございました！（加瀬澤）



水路も池も着々と作られ、森も整備しました

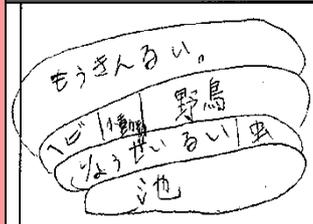


新米猟師の曾田さんに話を聞く  
けもの強い生命力を知った

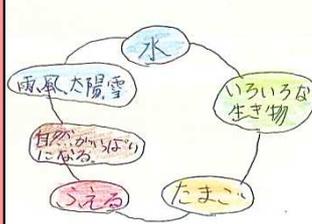


泥だらけになりました！

### 今回のつながり



### 今回のつながり



### ～コレンジャー活動報告書より抜粋～

#### 今日の感そう

ビオトープが色々な生き物をつなぐということがわかったことが今日の大きな成果だと思いました。草をかることも、そこから大きな連鎖につながっていくから、草は多くの生き物に命のバトンタッチをしたんだなと思いました。今回の活動はこれからの自分の行動を変えようとするすごく良いものになったと思います。



大雪の後、城山の山頂では61センチ(写真)、高明山頂上では72センチ、金比羅神社周辺では83センチもの積雪を確認しました。

沢筋の道では倒木が多く発生しました。写真は、高明山の登山道前の石原沢(道上の倒木は処理済)。



2週続けての大雪の後、今まで見たことがない厳しい積雪に覆われたあきる野のハイキングコースや、林道などの山へのアクセス道を早速確認し、一刻も早く歩けるようになってほしいという気持ちで巡視を始めました。

大雪が過ぎてから、5日連続で城山、金比羅、長岳尾根、小峰公園～沢戸橋や、高明山までのハイキングコースを歩き、倒木処理などを行いました。これまで、尾根道に多少の被害があり、特に谷筋の道では倒木が多く発生しました。また、大量の積雪が見られる場所が多いため(平均で40センチ前後のコースが多いが、80センチを超える場所もあります)、かなり歩きにくくなっています。

林道に関しては、上養沢や盆堀などのそれぞれの入口付近で40センチ以上の積雪が見られたため、車などではアクセスが不可能な状況です。例えば、逆沢の道でも倒木が多いため通行できません。

このコラムを作成した日(2月24日)の時点での状況ですが、山の中では、気温が上昇してもしばらくの間は雪が多く残るため、数週間程度では戸倉三山や馬頭刈尾根などの長いコースを歩く事は特に危険であると思われるので、山歩きは遠慮した方がよさそうです。

早めに、他のコースを確認する予定ですが、山を訪れる予定の方は「環境の森推進係」に登山道などの状況についてお問い合わせください。また、山に出かける場合は、十分に準備してください。



← 確認や実踏したハイキングコース。点線は踏み跡が見られたが、レンジャーでは全区間を確認していませんので、注意が必要です。Xのポイントは長い区間で通り抜け不可能になっていると見られる場所です。

[パブロ]

